

システム監査技術者 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

投資対効果に責任を持つ主管部署がシステムオーナーとして漏れなく登録されているか。

設問 2 (14 点:(i)6 点, (ii)8 点)

(i) システムとデータの移行費用

(ii) 費用項目が漏れなく含まれていることをレビューしているか、責任者が承認しているかを確かめる。

設問 3 (8 点)

各ゲートで客観的な審査を行える判定基準が設けられているか。

設問 4 (10 点)

各プロジェクトの計画時に設定した投資効果測定期間とその実績の審査予定時期の妥当性

設問 5 (8 点)

ア：投資対効果の審査に必要なスキルを持つ第三者が選ばれていること

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

詳細なデータ項目の収集に伴う負荷によって、通常のシステム利用に支障をきたすリスク

設問 2 (10 点)

利用部門における個人情報の利用・管理が個人情報保護の法令どおりに行われる体制であること

設問 3 (10 点)

過剰なサービスレベルを遵守することによって、他システムの運用に支障をきたすリスク

(別解) 不要なサービスレベルのために、障害時に本来優先すべきシステムの復旧が遅れるリスク

設問 4 (10 点)

活用検討会の議事録を閲覧し、明確な分析目的に応じたデータ収集やニーズの提案が行われているかを確かめる。

設問 5 (10 点)

会議開催実績表を閲覧し、情報共有目的会議の 30%削減等の施策の達成状況を確認する。

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (8 点)

a：新しい販売管理システムでの受注内容の自動チェック

設問 2 (18 点:(1)5 点×2, (2)8 点)

(1) b：EDI 取引契約書 c：要件定義書 (b, c は順不同)

(2) d：受発注成立の条件が、新しい販売管理システムの要件として正しく反映されているか

設問 3 (16 点:8 点×2)

e : 10 万円以上の受注を複数の 10 万円未満の受注データに分割して受注確定させてしまう

f : 当日中の得意先ごとの受注合計額について, 与信限度額を超えていないかをチェックする

(空欄 f の別解) 当日中の 10 万円未満の全受注について, 承認作業を得意先ごとにまとめて別途行う

設問 4 (8 点)

g : 出荷指示リストにあつて出荷完了リストにない商品をチェックできる機能があるか確かめること

以上